

平成24年～平成28年の4～6月(春山)における山岳遭難事故発生場所

<死亡・重傷事故につながる下山中の滑落事故が多発しています!!>

八ヶ岳では、赤岳などで11件の滑落事故が発生し、3件の死亡事故、3件の重傷事故につながっています。また、11件の滑落事故のうち、7件（全体の6割程度）が下山中に発生しています。

○山岳地帯は冬山とほとんど変わりません。また、低気圧と高気圧が交互に近づくため、天候が短期間、短時間で変化します。

○雪上でスリップによる転倒、滑落、気温上昇による雪崩、急激な天候変化（気温低下）による道迷い、低体温症、凍傷に注意しましょう。
茅野警察署・諏訪地区山岳遭難防止対策協会

北八ヶ岳で発病や転倒事故あり



蓼科山（将軍平、山頂付近）
転倒、発病（合計3件）



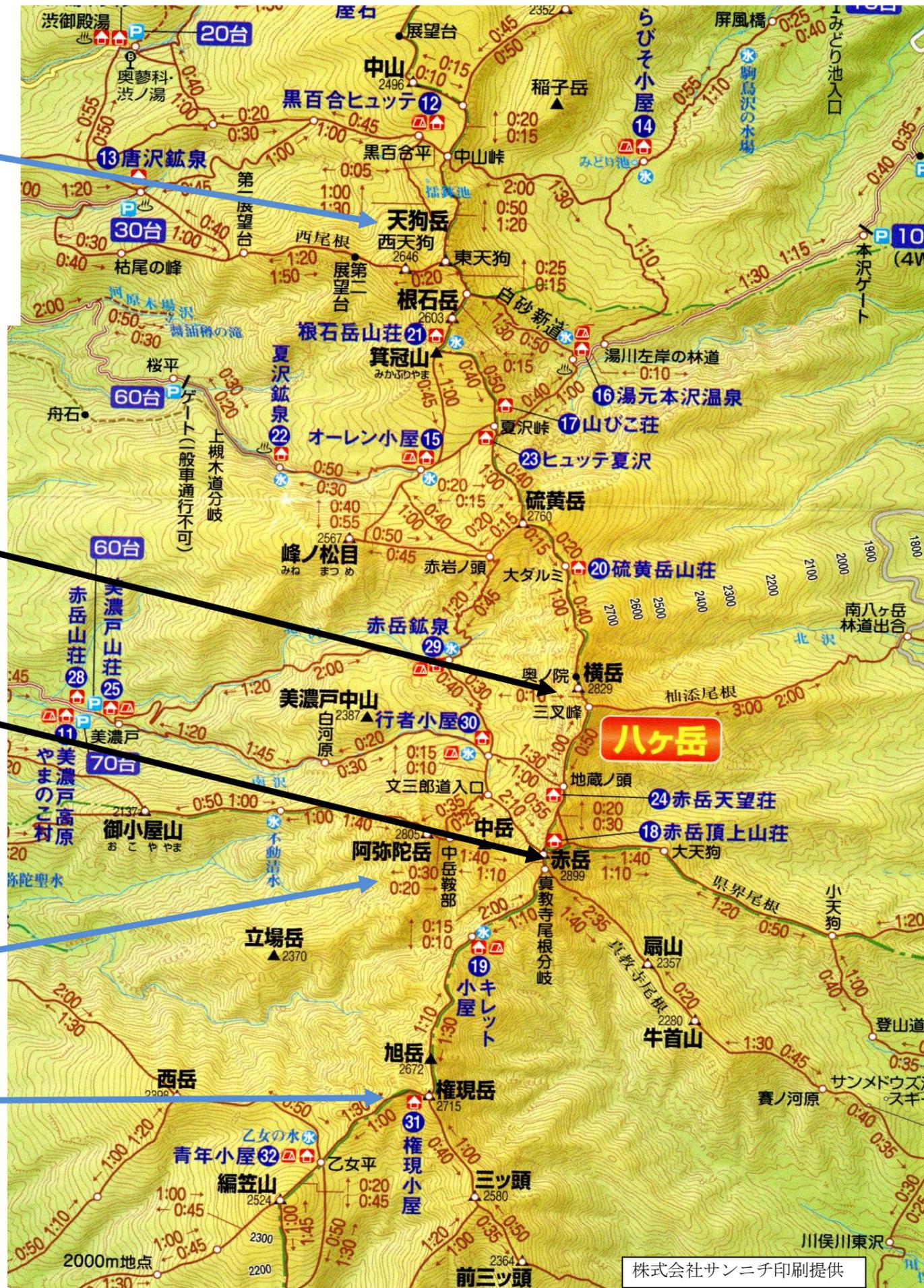
天狗岳（中山峠との間）
転倒による重傷
（1件）

横岳 死亡
滑落、転倒
（合計3件、うち死亡1件）

赤岳 死亡
地藏尾根での下山中の滑落、
文三郎尾根での滑落 など
（合計12件、うち死亡2件）

阿弥陀岳
下山中の滑落で重軽傷
（合計4件）

権現岳
スリップによる滑落で負傷
（合計1件）



南八ヶ岳での下山中の滑落事故多し